

ウィーン V. ルジェリウス ピアノ三重奏団

V. Ruggierius Trio Wien

本格的な演奏と楽しいトークで
ウィーンへ誘う

ヴァイオリン
森川耕太

チェロ
森川敏子

ピアノ
黒木由香

Program

- クライスラー シンコペーション
- クライスラー 愛の悲しみ
- シューベルト アヴェ・マリア
- ヨハン・シュトラウス2世 アンネン・ポルカ
- クライスラー 前奏曲とアレグロ
- ラヴェル 水の戯れ
- ヨハン・シュトラウス2世 ロマンズ 第2番
- ブラームス ハンガリー舞曲 第6番
- ヨハン・シュトラウス2世 トリッチ・トラッチ・ポルカ
- ヨハン・シュトラウス2世 ワルツ「ウィーン気質」

2025年7月19日 土

開演 14:00 (開場 13:30)

可児市文化創造センター ala 小劇場

全席指定：3,000円 25才以下 1,500円 ※4才から入場可

チケット発売：5月10日(土) 9:00 ※電話予約は翌11日(日) 9:00

※パッケージチケット購入者限定

「ホームタウン・トッピング」対象公演(20%OFF)

詳細はアーラHPをご覧ください。→



主催：ウィーン V. ルジェリウス ピアノ三重奏団

共催：公益財団法人可児市文化芸術振興財団



V. Ruggierius Trio Wien

1999年に森川耕太（ヴァイオリン）、森川敏子（チェロ）、黒木由香（ピアノ）によって結成。2000年より毎年日本演奏旅行を行い、質の高いウィーン風の演奏と曲目やウィーンに関する楽しいトークをマッチさせたコンサートは各地で好評を博し、一層幅の広い活躍が期待されている。プログラムはウィーン古典派からドイツのロマン派、そして親しみやすいJ. シュトラウス・ファミリーのウィンナワルツやポルカ、またウィーン派のヴァイオリニスト、F. クライスラーの作品のトリオアレンジ版も取り入れ、長年住み慣れた地元ウィーンの気質や感覚を前面に打ち出した解釈、演奏に取り組んでいる。



森川耕太（ヴァイオリン）
Kota Morikawa, Violin

鶴丸高校、鹿児島大学教育学部音楽科卒。石井調、三鬼日雄、岩下ゆり子の各氏に師事。1984年、ウィーン留学。ウィーン市立音楽院（コンセルヴァトリウム）に於いて W. バリリ、G. シッヒに師事。在学中ウィーン市教育委員会より奨学金を受ける。1984年のザルツブルク夏季音楽講習会では M. シュヴァルベに師事。室内楽をバリリ弦楽四重奏団、アマデウス弦楽四重奏団、アルテンベルク・ピアノ三重奏団、F. バルトロメイ、W. シュルツ、E. メルクスに師事。1991年に優秀な成績で卒業。同年ウィーン室内管弦楽団に入団。ウィーン楽友協会やコンツェルトハウスにおけるウィーン芸術週間に数多く出演。日本を含む数多くの海外演奏旅行を行う。世界的な指揮者、ソリスト達から多大な影響を受ける。1993年よりウィーン・フォルクスオーパー歌劇場管弦楽団に第2ヴァイオリン副首席奏者として入団。2002年より6年間は、同交響楽団の役員をも務め、現在に至る。1999年よりハイドン・フィルハーモニー管弦楽団の第2ヴァイオリンの首席奏者として活躍中。ロンドンのプロムス音楽祭、ニューヨークのモーストリー・モーツァルト・フェスティヴァル、ザルツブルクのモーツァルト芸術週間に出演。ハイドンイヤーの2009年はヨーロッパ、日本、韓国への演奏旅行を行う。2009年には仲間と新しいオーケストラ、ウィーン・コンチェルト・クラシック・オーケストラを立ち上げ CD を製作、2010年には日本演奏旅行でこのオーケストラの世界デビューを飾る。【使用楽器】1700年頃クレモナで V. ルジェリウスにより製作され、代々ウィーン・フィルに伝わっていた古銘器。【使用弓】J. ユリー



森川敏子（チェロ）
Toshiko Morikawa, Cello

静岡市出身。東京音楽大学に於いてヴァーツラフ・アダミーラ、菊田雅治、松波恵子の各氏に師事。1980～1983年、日本フィルハーモニー交響楽団に在籍し、室内楽のコンサートも数多く行う。1983年、ウィーン留学。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者の F. バルトロメイ氏に当時唯一の弟子として5年間師事。室内楽をアルテンベルク・ピアノ三重奏団、A. アレンコフ、E. メルクス、F. バルトロメイに師事。1985～1992年、ウィーン室内交響楽団に於いて首席奏者を務める。1988年からウィーン劇場連盟オーケストラに首席奏者として1990年まで在籍。ウィーン、日本を中心に室内楽で活動中。1998年に黒木由香とピアノトリオ結成。1999年より森川耕太を迎えてウィーン V. ルジェリウス ピアノ三重奏団を結成。2009年よりウィーン・シルヴァ・ピアノ三重奏団 (Silva Trio Wien, 森川耕太 =ヴァイオリン、森川敏子 = チェロ、森美加 = ピアノ、ウィーン国立音楽大学専任講師) を結成。【使用楽器】1700年代後半にウィーンで M. ティーアによって製作され、当時流行った暗いニスが特徴で室内楽に適したウィーン風の柔らかい音色の楽器。【使用弓】J. フェティーク



黒木由香（ピアノ）
Yuka Kuroki, Piano

ウィーン国立音楽大学ピアノソリスト科卒業。ディプロマ取得。ノエル・フローレス教授に師事。ウィーン市立音楽大学にて室内楽クラスを受講。アルテンベルク・ピアノ三重奏団に師事。これまでにアレクサンダー・イエンナー、ローランド・バティック、柴沼尚子、大島正泰、三宅洋一郎、山崎晴代の各氏に師事。ウィーン国立音楽大学在学中より、演奏活動を開始。1999年、ウィーン V. ルジェリウス ピアノ三重奏団を結成。ピアノコンチェルトのソリストとしてリトアニア室内管弦楽団（サウリュス・ソンドツキス氏指揮）セントラル愛知交響楽団（小松一彦氏指揮）等と共演。室内楽で、上海カルテット、名フィルメンバー、愛知室内オーケストラメンバー等と共演。ピアノソロとしては通常のリサイタルの他、「リストとショパン～ふたりの名ピアニストの物語～」 「フランス音楽」 「有名なピアノ曲」 「モーツァルト」等のテーマで曲目解説や作曲家のエピソードなどお話を交えた親しみやすいコンサートで演奏。音楽劇の音楽、即興的な舞台音楽、BGM 制作にも取り組み、「シリーズ恋文」の音楽を Vol.2 から手掛けている。その他、新曲初演、伴奏など、ウィーン及び日本各地で様々な演奏活動を行う。またコンクールの審査員も務め、後進の指導にもあたっている。

チケット取り扱い

可児市文化創造センター ala インフォメーション
Tel.0574-60-3050 (9:00～19:00)

火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み



インターネット予約



当日ハーフプライス



パッケージチケット購入者限定
「ホームタウン・トッピング」対象公演

※ 割引サービスの詳細は、アアラ HP をご覧ください。

※ 出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 駐車場が混雑することが予想されますので、お時間に余裕を持ってお出かけください。

お問い合わせ

可児市文化創造センター ala

Tel. 0574-60-3311 (9:00～22:30)

火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

URL <https://www.kpac.or.jp>

アアラ

検索



kpaciala



kani_0727



@kani_ala